

訪問看護ステーション(あわら事業所) TEL73-5377



いつも当訪問看護をご利用いただきありがとうございます。

記録的な大雪に見舞われた今年2月。国道8号線では車の立往生が3日間続き物流も滞り、道路は除雪が間に合わないなど、私たちの生活は混乱しました。

当医師会も例外ではなく、やっとの思いで出勤しても訪問車が出せない、訪問に伺えない状況でした。

ご利用者様、ご家族には大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

この教訓を受け、今後の対策を検討したいと思います。

(H.W)



けありんぐ

坂井地区医師会
ケアセンター
広報紙
2018/春号
Vol. 16



災害・救急医療への対策 ～ 坂井地区医師会の取り組み ～



今年の2月6日火曜日、朝起きてびっくりした方は多かったと思います。その後も、雪は勢いを増し、1m70cmを超え、日常生活、仕事への影響は甚大なものとなりました。医療の面でも、在宅医療、救急搬送、透析などを含む多くの領域で問題が起き、災害時の対応の難しさが浮き彫りとなりました。

坂井地区医師会としての災害医療への取り組みとしては、昭和50年に災害医療対策要領が制定されております。平成27年11月、より具体的な対策要領の作成を目的に災害・救急医療委員会が開かれ、新しい一歩が踏み出されました。その後、行政との合同会議、福井大学の小淵先生の講演会、数回の委員会を経て、災害対策マニュアル作りが進められました。今回リニューアルされたマニュアルにおいては、①医師会対策本部の設置および後方支援、②無床診療所の初動マニュアル、③緊急連絡網の整備、以上の3つが中心となっております。このマニュアルが実際に活用されないで済むことが望ましいのですが、万が一の場合には、皆さんの救護がより効率的に行われるよう、日頃からこのマニュアルを傍らに置き、診療に望みたいと考えております。

(医師 M.N)



～編集後記～

今回の「けありんぐ」でもとりあげましたように、今年の冬は37年ぶりの大雪に見舞われ皆様大変不便な思いをされたかと思います。今ではウソのようにすっかり雪が消えてしまいましたが、忘れられない出来事となりました。

長い冬も終わり、ゴールデンウィークも間近です。春風を感じに外に出掛けてみるのもいいですね。

(Y.T)



待ちに待った春が来た ～お花見～

デイサービスセンターでは、毎年桜の開花時期に合わせて丸岡城へお花見に出掛けています。今年は、2月の記録的な大雪で開花が心配されましたがあまり影響がなく、丁度満開の綺麗な桜を見る事ができました。丸岡城は『日本さくら名所100選』に認定されている日本最古のお城です。利用者様は今年も満開の桜をバックに笑顔で記念撮影。「今日来て良かったあ!!」「お城と桜がキレイ!」などとても感激されていました。皆さん人形焼やお餅などをお土産に花見を満喫されました。また、雨天の際の車内からは霞のような桜の花々をバックに浮かぶ丸岡城がとても幻想的でした。その後は、雨でお花見が出来ない日はピアゴで楽しくショッピングをしていただきました。

(N.T)

デイサービスセンター(通所介護事業所) TEL73-8710

医師会立だからこそできる医療と密着した介護サービスがモットー

<http://www.sakai-med.com>

ホームページでも広報紙を掲載しております(※バックナンバーについてもご覧いただけます)



～各事業所から～



ヘルパーステーション(訪問介護事業所) TEL73-8390

私たちスタッフは
「いつでも」「どこでも」「安心して暮らせる」「あたたかい介護サービス」
をモットーに頑張っています!!

ホームヘルパー(訪問介護員)の仕事ってどんなことするんやのー?



仕事内容は大きく分けると「生活援助」と「身体介護」の2つがあるんですよ。

生活援助

お掃除やお食事の準備、洗濯、
買い物など、日々の生活を送る
うえで必要な援助が中心となり
ます。(※利用者様が対象です。)

- 調理
- 洗濯
- 掃除
- 買い物代行
など...



身体介護

直接身体に触れる介護が中心
となります。

- 食事介助
- 入浴介助
- 排泄介助
- 更衣着脱介助
- 口腔ケア
- 体位交換 など...



自立にむけた介護を目指し、その人らしさやその人
の望む暮らしに近づこう支援しています!



1人暮らしでも手
伝ってもらえると
心強いわー。

ヘルパーさんが
見てくれるから
安心して炒め物
ができるわー。



(M. M)

霞の郷訪問看護ステーション TEL68-5075

「この冬一番ショックだったのは…」

実は私も1500台の中にいたのです。

2月6日の朝7時、出勤途中に国道8号線の立ち往生に巻き込まれ、すぐ動き出さないうちになんてな〜んで甘く思っていたら大間違い!! なかなか動けず気持ちは焦る一方で、次々と難題が…トイレには行きたくなる、おなかはずいぶん空しく、携帯充電はなくなる、ガソリンは…と。結局、出勤できず自衛隊に救出されたのは夜中の11時、なんと17時間後でした。いつもなら20分程の通勤路なのに…。

この日出勤できたのは、わずか3人。結果、利用者様、スタッフの安否確認を任せざるを得ませんでした。

翌日からは訪問車も自家用車も出せないため、スタッフが自宅から完全防備でリュックを背負い傘を杖に、歩いて訪問に向かいました。ある利用者様は透析治療に行けず、とても不安な時間を過ごされました。訪問をキャンセルさせていただいた利用者様には申し訳なく、大丈夫だろうか? と心配や焦る気持ちで、早く雪が落ち着くことを祈るばかりでした。

桜満開の今、あの出来事は何だったのだろうかという不思議な気持ちと共に災害の恐さ、日頃平穏な日々を送ることのありがたさを痛感した経験でした。

大雪が一段落した時に息子が放った何気ない一言。「お母さん、ちょっと老けたんじゃない」。これは冷たく心に刺さり、この冬一番ショックなことだったかもしれません。暖かくなった今は顔パックに励む毎日です。(N.S)



居宅介護支援事業所 TEL73-8720

介護者の方へ
毎日介護ご苦労様です!!
ストレスを感じることはありませんか?

ストレスがたまると頭痛、肩こり、目の疲労感、動悸、めまい、胃痛、便秘、下痢、不眠などの不調が出てきます。

ストレス解消法

睡眠をとる



友人との交流



趣味を見つける



大人の塗り絵



編み物、裁縫



メイクやおしゃれ



などを楽しんで介護によるストレスを解消しましょう。

不調が続く場合は、早めに病院受診してください。



(S. I)

皆様が住み慣れた地域での生活を維持しながら、安心して暮らしていけるようお手伝いします!!

医療・介護・福祉のことでご相談がある方、お気軽にご連絡ください(坂井地区在宅ケアネット事務局 ☎73-5366)